

## 手術等により悪性腫瘍を摘除した患者さんへ

### 「悪性腫瘍における Amigo 発現と臨床病理学的意義の解明」について

#### はじめに

鳥取大学医学部実験病理学分野では、1998年4月から2023年3月までに悪性腫瘍と診断され手術および生検により腫瘍を摘除した患者さん（手術中に他の手術方法に変更された患者さんも含みます）を対象に、カルテ等の診療情報から得られる情報／検体（腫瘍）をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

#### 1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、鳥取大学医学部附属病院において、手術により悪性腫瘍を摘出した患者さんのカルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）から、情報を集めさせていただくとともに病理部で保存してある検体（腫瘍）の一部から、Amigo(Amigo1,2,3)タンパク発現を調べます。Amigo タンパクは細胞接着に関わるタンパクであり、とりわけ Amigo2 タンパクを発現しているがん細胞は、肝臓に転移しやすいことを動物実験により明らかにしてきました。そこで本研究では、Amigo2 を含めそれぞれの Amigo タンパクの発現が病期の進行（予後）や転移先臓器の特異性に関係しているかどうかの調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部実験病理学分野で集計されます。また、検体（腫瘍）からの Amigo タンパク発現検査は、鳥取大学医学部実験病理学分野で行います。なお、情報／検体（腫瘍の一部）は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

#### 2. 取り扱う情報／検体（腫瘍）

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

手術時年齢、性別、病理診断、血液データ、腫瘍の臨床所見、臨床病期、合併症、既往歴、術式等治療の内容、最終生存確認日、最終転帰など

診療・手術時に得られた腫瘍組織（病理部で保管しているもの）を以下の測定目的で使用させていただきます。

腫瘍組織：Amigo タンパク発現の解析

### 3. 研究期間

この研究は、倫理審査委員会の承認を得た後、2027年3月31日まで行う予定です。

### 4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報／検体（腫瘍の一部）は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化\*され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

\*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

### 5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございません。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集とすでに切除された検体を使用するのみであるため、特にありません。

### 6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報／検体（腫瘍）が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報／検体（腫瘍）は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報／検体（腫瘍）は、すべての研究が終了した日から5年を経過した日または最後の研究結果が論文等で発表された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

### 7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報／検体（腫瘍）を研究に用いられたくない、または鳥取大学医学部附属病院への情報／検体（腫瘍）の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

## 8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部実験病理学分野の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

## 9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

## 10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

## 11. 研究代表施設および研究代表者の情報

尾崎 充彦 鳥取大学医学部 実験病理学分野 准教授  
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86  
TEL：0859-38-6242／FAX：0859-38-6240

## 12. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報／検体（腫瘍）が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報／検体（腫瘍）の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

### 【研究責任者】

尾崎 充彦 鳥取大学医学部 実験病理学分野 准教授  
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86  
TEL：0859-38-6242／FAX：0859-38-6240

\*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。  
(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)

### 13.研究実施機関および研究責任者

鳥取大学医学部 実験病理学分野 准教授 尾崎 充彦  
北海道大学病院 眼科 講師 加瀬 論